

郵便料金計器用集計ソフトData Exchange 4.2.5のエラー3275について

先日公開された2017年10月度のWindows Updateを適用することで郵便料金計器部門集計ソフトData Exchange 4.2.5のデータ保存時にExcel形式でファイル保存ができず、エラー3275を表示する現象が発生しております。これは更新ファイルがインストールされることにより、ソフト内のデータベース(Access)とExcelとの連携に不具合が生じるためです。

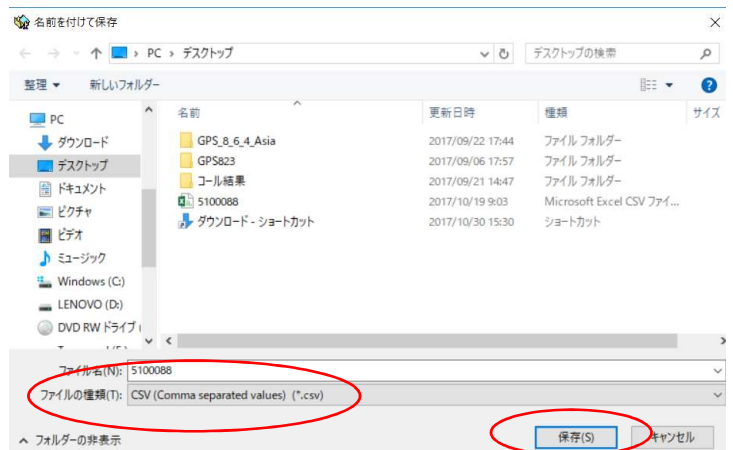
2つ回避策を下記に掲載しますので、参考になさってください。

回避策①: 集計データをCSV形式で保存した後にExcelでファイルを開き保存する

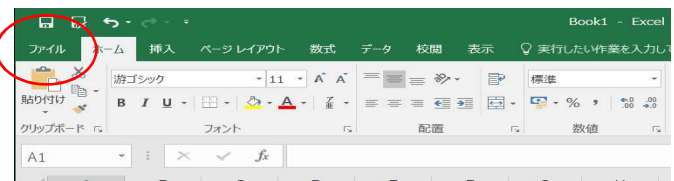
下記にその手順をご説明します

- 1 集計ソフトを立ち上げ、メーターと接続してデータを保存します。

注意: 右図のファイルの種類をプルダウンの中からCSVを選んで保存します

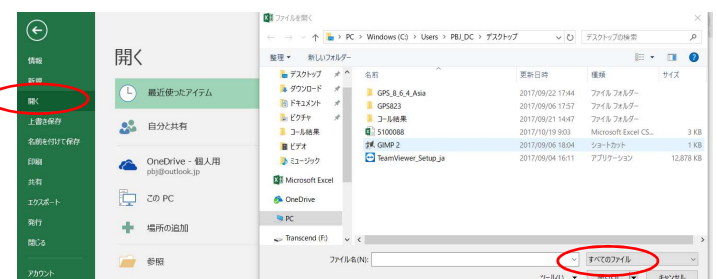


- 2 右図のようにExcelを開き、画面上部のファイルのタブをクリックします。



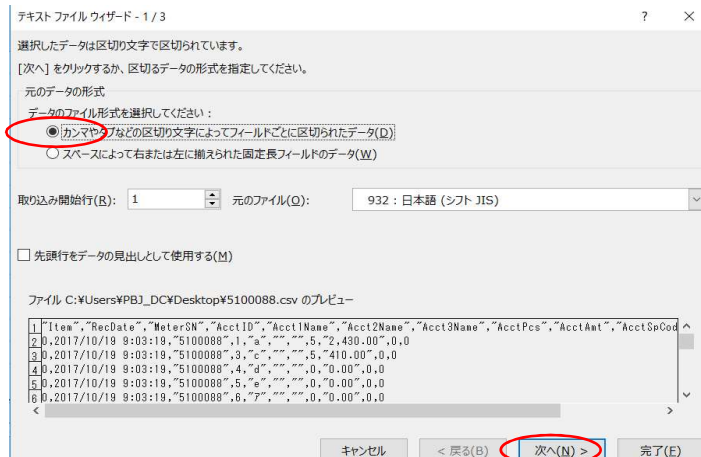
- 3 右図の画面左部の開くタブで、CSV形式で保存したファイルを開きます。

右図右下のプルダウンメニューよりすべてのファイルを選択してください



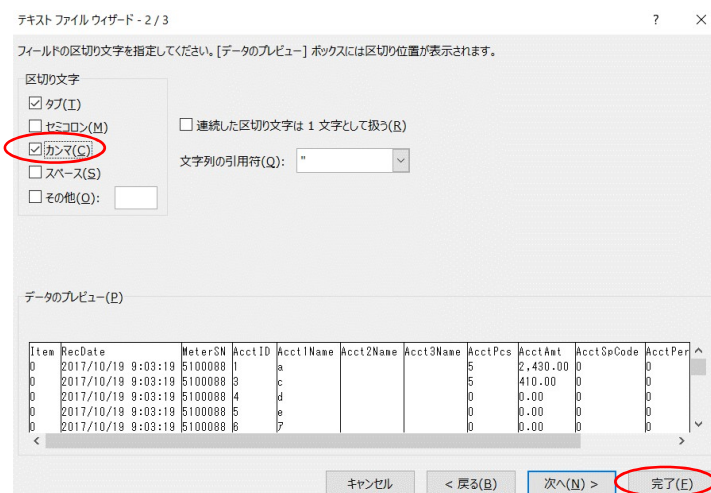
4 ファイルを開くと、右図のようなテキストファイルウィザードが開きます。

カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータにチェックをして次へをクリック



5 テキストファイルウィザードの2/3ページが開きます。

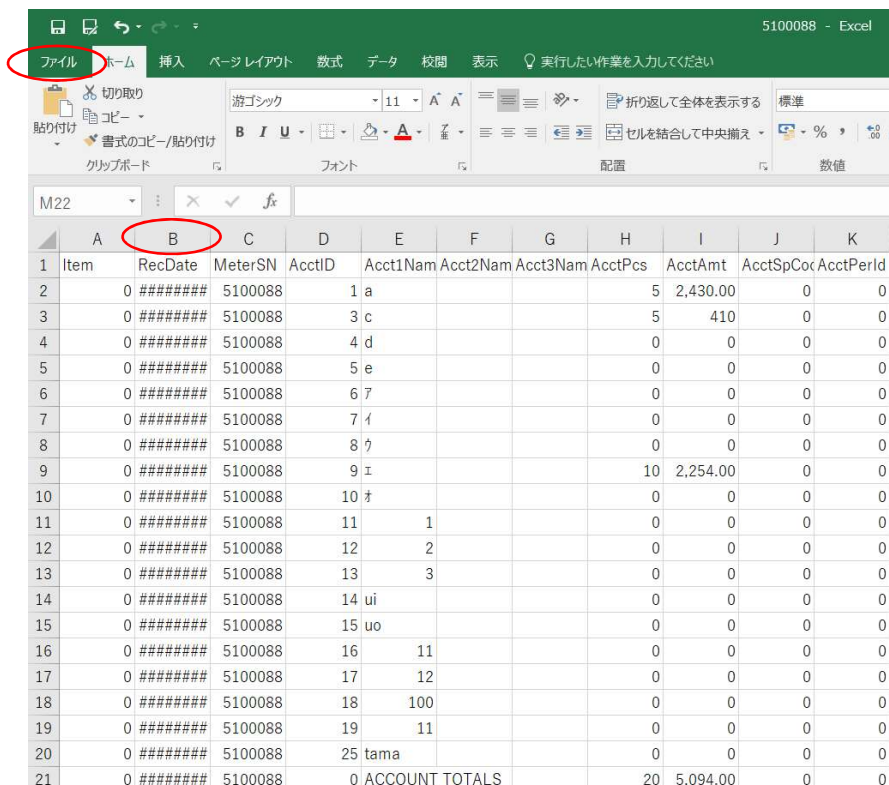
区切り文字のリストの中からタブとカンマにチェックを入れて完了をクリック



6 Excelの表が表示されます。

ファイルのタブをクリックして名前を付けて保存して終了です

集計日時が秒まで表示されているのでB行をセルの書式設定で表示変更することをお勧めします



回避策②: 更新したファイルのアンインストールを実行する

集計ソフトがインストールされているPCが“Windows Updateを自動更新”に設定されている場合、シャットダウン時に自動的に下記のWindows更新ファイル(10月分)がインストールされています。

- ・KB4041681 (Windows7)
- ・KB4041678 (Windows7)
- ・KB4041693 (Windows8/8.1)
- ・KB4041676 (Windows10)

OSのバージョンによって更新ファイルは変わります(上記以外の場合もございます)。

御社システム管理のご担当者さまにご相談いただき、更新ファイルのアンインストールを行う対応(同時にWindows Update自動更新の設定を変更)をご検討ください。